


















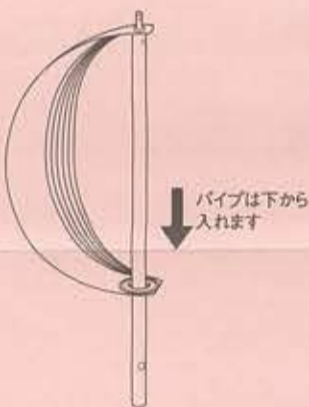
矢車 組み立て説明書 Y-01 (庭園用)

(品質改良の為、化粧箱掲載写真と現物が多少異なる場合がございます。)

部品名称

			
① 回転球・・・1ヶ	④ 円盤・・・2ヶ	⑦ 筒・・・1ヶ	⑨ 部品袋・・・1セット
			
② 縦軸・・・1ヶ	⑤ 矢羽根・・・14ヶ		リング・・・1ヶ
			
③ 回転球キャップ・・・1ヶ	⑥ 帯・・・2ヶ (上図と違う形もございます。)		ワリピン (シルバー)・・・17ヶ [3ヶ予備]
			
			ワリピン (ゴールド)・・・5ヶ [1ヶ予備]
			
			ネジ (蝶ナット付)・・・3ヶ
			
			止め金具・・・2セット
			
			ワッシャ・・・4ヶ
			
			キャップ・・・2ヶ
			
			釘・・・1ヶ (ボールが材木の時のみ使用します)

1. 回転球の組み立て



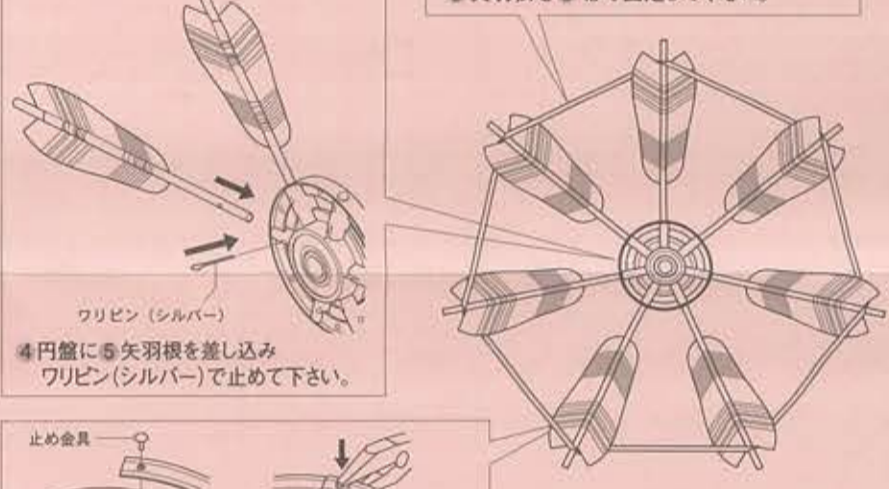
① 回転球に図の様に② 縦軸を差し込みます。

↑ バイブは下から入れます

↑ リングの止め方
リングを縦軸の上部の横穴に差し込んで固定して下さい。

↑ 上図の様に③ 回転球キャップを、広げた回転球上部に差し込み、各々の溝にはめ込みます。回転球は出来るだけ球形にして下さい。↑の下部から押すと丸くなります。

2. 矢車の組み立て



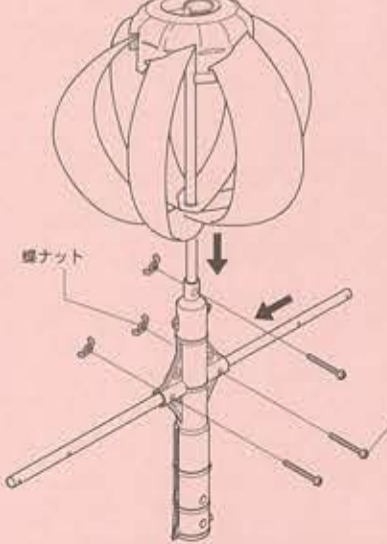
④ 円盤に⑤ 矢羽根を差し込みワリピン(シルバー)で止めて下さい。

↑ ⑤ 矢羽根を⑥ 帯で固定して下さい。

↑ ⑥ 帯の両端の穴を合わせ止め金具をベンチなどでしっかりはさんで止めて下さい。

↑ 羽根は、上図の様な状態で保存して下さい。翌年までです。
※ 羽根は、解体しないで下さい。

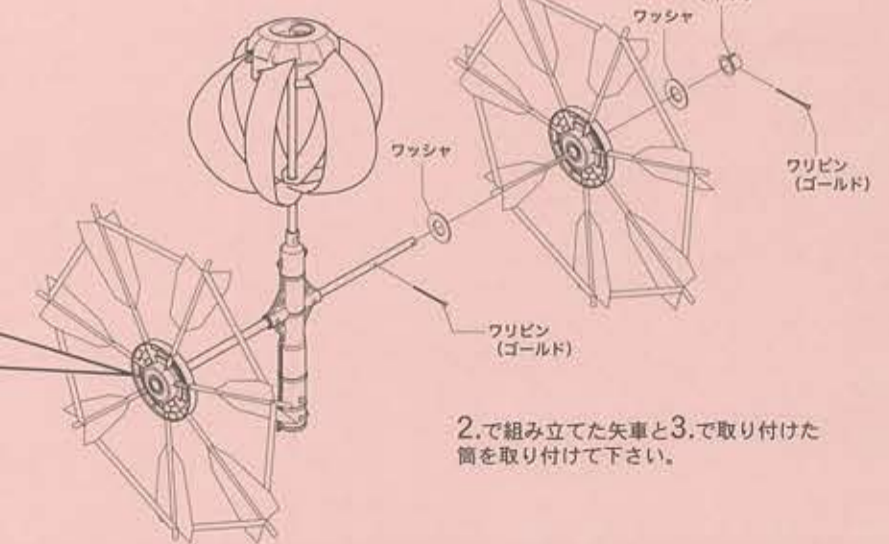
3. 筒の取り付け



⑦ 筒に1.で組み上げた回転球と⑧ 横軸を差し込みネジで取り付けて下さい。

↑ 割りピンの止め方
上から下へ差し込んだ後で、左右に広げて下さい。

4. 矢車の取り付け




2.で組み立てた矢車と3.で取り付けした筒を取り付けて下さい。

△ 使用上のご注意

- ・小さい部品がありますので、作業中はお子様にご注意下さい。
- ・部品落下防止の為、ネジや割ピン部分などはしっかりと工具などを使い固定して下さい。
- ・説明書は組立て終了後も、紛失しないように保管して下さい。
- ・シーズン終了後は、必ず矢車を降ろして下さい。
- ・使用後は汚れを落とし、乾いた布などで良く拭き、可動部分には注油して湿気の少ない所に保管して下さい。
- ・本製品は消耗品であり、使用・保管状態により、変色・腐食する場合があります。翌年、組立てる前に必ず腐食状態をご確認下さい。
- ・部品を紛失、破損等した時は右記へお知らせ下さい。実費と送料でお送り致します。

日本鯉のぼり協会会員

製造  株式会社 中須

〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目1-32
TEL: 06-6656-0222
FAX: 06-6656-0300


庭園用鯉のぼりセット

G-01

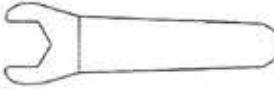
部品の名称

①  ● 矢車…1セット

②  ● 杭…1本
(杭キャップは別売オプション)

③  ● ポール…1組
鯉の大きさにより、6本、7本、8本紐ぎの3種類あります。組立方法は同じです。

④  ● ボルト・ナット
ポール6本紐ぎ…5本
ポール7本紐ぎ…6本
ポール8本紐ぎ…7本
※ナットは1つ予備

⑤  ● スパナ…1ヶ


⑥  ● 滑車付ボルト…1ヶ

⑦  ● 引き上げロープ…1ヶ

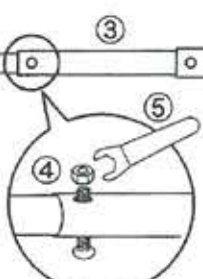
⑧  ● ヒートン付ボルト…1ヶ

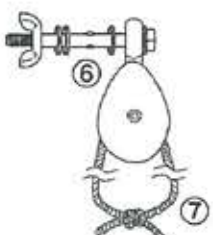
⑨  ● 口金具…4ヶ
(7ヶ入りもあります)

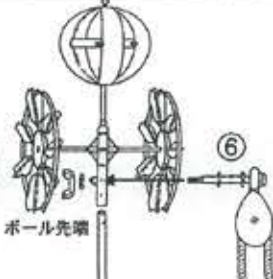
組み立て順序

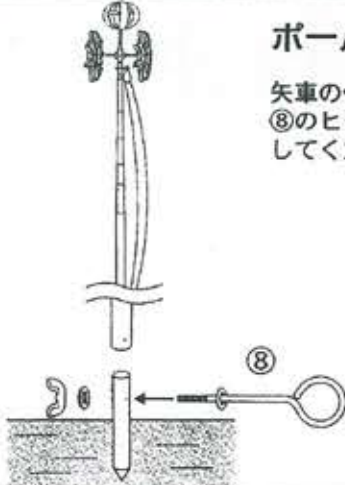
1  矢車の組み立て
①の矢車セットの組立説明書を参照してください。

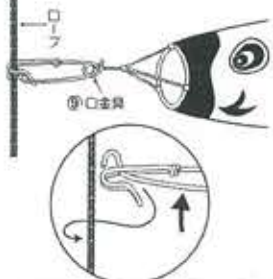
2  杭の打ち込み
ハンマー
木
②の杭を地中に約2/3打ち込んでください。
※杭の先端が広がらない様、木などを当ててください。

3  ポールの組み立て
③のポールの先端から④のボルトを⑤のスパナで組み立ててください。
※ゆるみ止めの特殊ナットのため、スパナとドライバーを使って締めてください。閉めすぎるとポールを傷つける恐れがあります。

4  ロープの取り付け
⑥の滑車付ボルトに⑦の引き上げロープを取り付け先端を結んでください。

5  矢車とボールの接続
矢車とボールをロープの付いた⑥の滑車付ボルトで接続してください。
※矢車の筒穴が一番上を使用してください。

6  ポールと杭の接続
矢車の付いたポールと杭を⑧のヒートン付ボルトで接続してください。

7  口金具の取付け
吹流しと鯉のぼりを⑨の口金具を使って取付けてください。
※ロープの先端は⑧のヒートン付ボルトの輪の先端に結び付けてください。

△使用上のご注意

- 杭を打ち込む時は、地面の柔らかい場所は避け、ぐらつかない様しっかり打ち込んでください。
- 組み立て中に万一、ポールが倒れた場合を考え、周囲の安全をご確認の上、組み立てを始めてください。
- ポールはアルミ製のため、電線に触れない様ご注意ください。
- 強風の場合は鯉をポールから降ろしてください。

日本鯉のぼり協会会員

製造 

株式会社 中 須

〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目1-32

TEL: 06-6656-0200

FAX: 06-6656-0300